

2018年1月号

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1 神戸学生青年センター内

食品公害を追放し安全な食べ物を求める会

TEL & FAX : 078-822-0810 第2FAX : 078-842-2430

■URL・<http://www.motomerukai.com>

■Email : [info.motomerukai@gmail.com](mailto:info.motomerukai@gmail.com)

# 求める会ニュー入 No. 948

## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます



2017年(酉・とり年)の大きなテーマであった配送依頼先変更は、皆様のご協力のお陰で大きな問題が生じることもなく、2018年(戌・いぬ年)を無事に迎えました。配送費を大幅に減らすことができましたので、赤字の心配をしないで当面活動が続けられます。今後は会員の高齢化によるパワーの低下を補う活動を考えていきます。

幸い一昨年のお話し合いで、すでに新しい形の活動スタイルについての具体的な提案が出ており、地域集会で最も会員数が多いグループが賛成しています。食べ物の受注、発注、配達を「あしの会」に依頼してそれに関わる作業をなくし、残った資金と体力で新たな「求める会」の活動を作ろうというものです。例えばコーラス部など会員が楽しめる場を作り、一方で味噌づくりのイベントなどで次世代に有機農業の食べ物を伝えていくことも続けます。このところ身近な活動で手いっぱいの子供、提携を広げる活動を軽んじる意見を聞くことがありますが、この際「求める会」に在籍し活動を継続していることの意味を確認し合うことも必要でしょう。

なおこの新しい形の活動スタイルは、「求める会」が食べ物の扱いをしないため、活動資金にあてていた上乗せ金が無くなります。また「あしの会」が扱う共通する提携の生産者の食べ物は、引き続き「あしの会」のカタログでいただけますが、「あしの会」が扱わない野菜、果物、肉類などの提携の生産者の食べ物の購入をどうするかを考えていかねばなりません。これはいくつかの地域集会で出た懸念で、提携の生産者を支えていくという会員の思いが表れています。現状の活動を維持しつつ、この提案について話し合っていきます。



さて、若い人たちとの交流も続けていきます。味噌づくりの第2弾は企画されており、「おいしいね！」が育てる元気 シリーズ参加者で会員の「ポル☆シェ 芦屋 -POLPO」の仲間の方々も誘って、また楽しいひと時を共有できると思います。またヨガ教室の「space わに」さんは、「求める会」の扱い品を購入しバックヤードで取り扱っていただいております。細々ながら提携の生産者の食べ物が引き継がれることを願っています。先日チラシ配布のための訪問で偶然参加したヨガ教室では、目まぐるしい現代社会に逆らうようなゆったりとした空間と考え方に触れ、今更ながら新しい自分発見がありました。若い世代が多く集まるわけだと納得し、有機農業運動につながりがある彼らに、これからはむしろ引っ張ってもらうようになるのかもしれないと思いました。 ( 代表 大野貞枝 )

12月全体会報告  
12月13日(水) 10:00~12:30

## ○検討事項

### 1 収穫感謝祭をふりかえる

来年度開催見通しの観点から

- ・全体的に去年より入場者は少なく、若い人や子供も少なかった(他の行事と重なった?) おいしいね!からは4人
- ・チラシの配布場所も検討したい。
- ・全体にお手伝いの人が少なかった。
- ・求める会入会案内を各コーナーに置き、関心のある方にすぐ手渡せるようにしたい。

### \*即売:

- ・買った物を入れるかごを用意したので、計算もスムーズに出来た。
- ・りんごの香りを漂わせるのに、袋の口を開ける案もあったが、現実的には難しい。試食も兼ね切った物を小皿に置く、袋に小穴を空ける等の案が出た。

### \*試食

- ・トトコーナーは完売。不足気味。
- ・大豆畑トラストの豆腐も完売。
- ・りんご、レモン、人参ジュースは値段をつけても良かったのではないかと。(材料費が高価)
- ・油を買いたい人がいたが、現物がなく、欲しい人には入会を勧めたい。
- ・お茶は各コーナーに試飲用を持って回られ熱意を感じた。

### \*研究部展示

- ・具体的に現物を置いたので解りやすかった。医療生協と同じ部屋だったのでかなりの人に見てもらえた。

### \*食堂

- ・食券は150枚用意し、29枚残った。(残ったご飯、豚汁は最後に販売)

### \*喫茶

- ・手伝い人数がぎりぎりだったが、食器を洗う手間がなかったので、何とか回った。紙皿や紙コップに抵抗感は少なかったようだ。ケーキは大好評。みかんジュースも好評。みかん売り場の試飲にもよいのでは。

### \*六甲医療生協(今回は無料)

- ・下肢筋力測定は開催時間が短すぎた。

### \*その他

- ・参加者が会員以外と思ったら声をかけると新しいつながりが出来るのではないかと。受付は用事が多く、チェックの余裕はない。
- ・チラシ持参の方に何かプレゼントするのはどうか(例えばゆず)。

### \*会員係りから(12月の会員数・228名)

- ・収穫感謝祭の目的として、会員同士や生産者との親睦、運営費の捻出、有機農業運動や有機食品の紹介などがあるが、現在のようやり方では、もう無理ではないかとの声もあり、2月の予算編成までに決定したい。(案:会場を変えてみる。一番しんどい部分を削り規模を縮小して続けたい等)

### 2 あしの会のカゴ配布について

- ・あしの会代表の奥谷さんから説明を受けたが、やってみないと解り難い。1月に求める会用のカゴと払い込み用紙を配布します。支払いは求める会とは別になるので、購入希望者は郵便局で手続きをして下さい。購入の記入で解らない点は、あしの会へお問い合わせください。配送の方に聞いて下さってもいいです。

### 3 求める会の今後の見通しについて

- ・会の内情や会計の状況などを客観視できるように、公認会計士、税理士に診断してもらってはどうかなどの意見がでた。

## ○報告事項

- \*野菜: 1月は1週目は全コース配送なし。市島との話し合いは12月は休み。

- ・今年は日照不足、台風、虫害などの影響で薬物の出来が悪い。漬物用大根は無し

- \*卵: 産卵率がうんと落ちています。

- \*事業部: 1月の全体会で淡路の水仙、15本350円を販売(山口さんの紹介)。

### \*学習研究部

- ・1月の全体会の午後1:30から阪神・市民放射能測定所代表・安東克明さんのお話を聞きます。多数の参加をお願いします。

- \*実務部: 請求書を受け取ったら確認し、不審な点があれば、即問い合わせして下さい。

- \*広報印刷日: 1月29日10:00

- 1月の全体会: 1月17日(水) 10:00~

## 食品環境セミナー報告

「子どもの貧困と学校給食」

11月22日(水) 10:30~12:00

跡見学園大学マネジメント学科

教授 鳥(がん) 咲子さん

2015年、埼玉・北本市の中学校で、給食費の未納が3カ月間続いたら給食を停止するという通知が出された。テレビやネットでも、給食費を払わないのは、親としての責任感やモラルがないと厳しく非難された。

しかし、自己責任と片付けてしまえる問題だろうか？ 親が払わないからといって、子どもにその責任を負わせてもいいだろうか？

学校給食は、明治22年、貧しくてお弁当をもってこられない児童のために始まった。昭和15年に始まった全員を対象とする給食には、戦争が大きくかかわっている。

終戦後の学校給食は、小学校では、海外からの援助もあり、すぐに100%に近い実施率になったが、戦後に義務教育になった中学校ではなかなか進まなかった。今も中学校の給食は県による格差が大きい(特に神奈川、近畿地方、高知、広島、九州北部での実施率が低い)。

給食のない中学生の7割が弁当をもってきているが、朝食をあまり食べていない子が弁当もないという状況がある。また、朝食を食べていない子は、朝食の代わりに手軽なお菓子を食べたり、甘い飲料やカフェイン入りの飲料をとるといった問題もある。

保護者、特に母親は給食を望んでいるが、財政の問題、おふくろの味、弁当を重要視する傾向、実施した時の学校、教師の負担増などが中学校の給食実施を妨げている。

また、大きなネックになっているのが、最初に挙げた給食費未納の問題だ。給食費の徴収や未納者への督促は学校単位で行われることが多い。未納がふえれば、ほかの生徒の負担になると考えられるし、食材購入にも影響する。それで、未納が続けばあの手この手の督促がされる。

しかし、実は給食費の未納率は全国で0.9%、ほかの公共料金に比べると低い(国民健康保険の未納率は10%)。親は一生懸命、給食費を払っているのだ。

また、小学校と中学校の未納率を比べると、中学校のほうが高くなっている。学校にかかる費用が高いのが問題で、親のモラルの問題だけではない。

また、生活保護や就学援助を受けていないから払えるはず、というのも短絡的だ。会社の倒産、非正規、リストラ、ひとり親、収入が少なくても生活保護の制度を利用してきていない例も多い。援助を申請できない事情を抱える保護者もいる。

行政や学校は滞納を続ける家庭を責めるのではなく、子どもが育つ環境としてリスク(育児放棄等)があるのではないかと、福祉による支援が必要なのではないかと考えるきっかけととらえてもらいたい。

最近では、督促しても無理なので、各市町村で就学援助をすすめるようになっていく(6人に1人)。また、収入に関係なく、少子化対策として、小さな町では給食費を無料にするところも出てきた。大都市でも2人目、3人目は半額というところもある。

子どもの貧困が大きな問題になっている今、全員の給食費を無料にしてはどうだろう。義務教育の無料化を実現したい。給食費無料化に必要な財源は、小学校、中学校合わせて5120億円だ。

(西山町G 岡 和美)

## 次回食料環境セミナー

「テレビでは教えてくれない

食品表示のウソ? ホント!」

1月24日(水) 10:30~12:00

消費者問題研究所 代表・垣田 達哉さん

会場: 神戸学生青年センターホール

参加費: 600円

※託児(無料)があります。必要な方は前々日までに予約してください。

主催: (公財) 神戸学生青年センター

## 1月のカレンダー

1月17日（水）全体会  
 1月20日（土）自動引落日  
 共同購入申込締切日  
 1月24日（水）食料環境セミナー  
 1月29日（月）ニュース印刷



## 1月全体会検討議題

1. 収穫感謝祭 来年度開催の検討
2. 求める会の今後を考える（前回に引き続き）

学生青年センター・求める会事務所休業  
 12/28（木）～1/5（金）

## 2018年1月配送予定

月	火	水	木	金	土	日
1/1	2	3	4	5	6	7
	休み		休み	休み		
8	9	10	11	12	13	14
	野菜年始初 牛肉		豚肉	牛肉 取扱品②		
15	16	17	18	19	20	21
	お茶・油 取扱品②	全体会	お茶・油 取扱品② 牛肉	お茶・油 豚肉		
22	23	24	25	26	27	28
	豚肉	セミナー	お米	お米		
29	30	31				
	お米					

## 2017年11月25日収穫感謝祭収支報告

収入		支出	
食券・喫茶・お うす	97,260	食券・喫茶・ おうす	66,392
ケーキ・総菜	85,850	ケーキ・総菜	35,714
果物・長芋等	66,510	果物・長芋等	41,500
牛乳・ヨーグルト	12,420	牛乳・ヨーグルト	10,211
フランクフルト	8,620	フランクフルト	7,916
米・豆腐	25,000	米・豆腐	21,394
残買取米・人参	5,470	試食用	2,930
事業部出店料	20,000	景品	5,660
陶器出店料	3,000	研究部	3,000
寄付	2,000	会場費	41,040
		学生交通費	1,140
		紙皿・コップ	3,975
		消耗品	4,726
収入合計	326,130	支出合計	245,598
		差引残高	80,532

## 菜の花まつりと影山製油所訪問

2018年4月1日（日）～2日（月）

宿泊：竹野屋（竹内まりやの実家）

費用：25,000円位

申込締切：1月31日（水）



貸切バスで行きますので、多数のご参加を  
 お願いします。

## あしの会のカタログが届きます

◆1月から「求める会用」のカタログが配布  
 されます。購入したいと思われる方は、  
 同封の申込用紙に記入し、配送の方にお  
 渡してください。

◆お支払いは、ゆうちょ銀行の口座から「あ  
 しの会」へ翌月10日に自動引落としにな  
 ります。同時に配布される、ゆうちょ銀行  
 の自動払込利用申込書に記入・押印の上、  
 最寄のゆうちょ銀行に提出してください

◆配送費は求める会の品物を配送している  
 ところは無料です。

（2面の「12月全体会報告」参照）